

平成24年度 教育・研究課題一覧

学部	学科	氏名	職名	研究分野	教育・研究課題
文学部	神道学科	井後 政晏	教授	神道学 (神社の歴史と祭祀の研究)	(1) 伊勢の神宮の史的研究 (2) 神社の史的研究 (3) 一宮・総社と国衙祭祀の研究 (4) 神社祭祀の研究
		河野 訓	教授	宗教学 仏教学	(1) 漢訳仏典と儒仏道三教交渉史の研究 (2) 20世紀中後半における中国仏教寺院の変貌の研究 (3) 宗教都市伊勢における神仏分離の研究 (4) 東アジアにおける宗教間の葛藤に関する研究
		白山 芳太郎	教授	神道史	(1) 伊勢神道の研究 (2) 戦没者慰霊の研究
		本澤 雅史	教授	神道学 (神道の古典と祭祀の研究)	(1) 延喜式祝詞の注釈的研究 (2) 祝詞の歴史的研究 (3) 祝詞研究史の研究 (4) 祭祀の研究
		伴 五十嗣郎	特別教授	近世神道史 神道思想史	特に近世神宮神祠官の精神・思想について考究している。
		松本 丘	准教授	神道学 (特に神道史・神道思想史)	(1) 垂加神道を中心とする江戸時代の神道史の研究 (2) 崎門における儒学思想の研究
		木村 徳宏	助教	神道学 (神道史・神道思想・神道祭祀の研究)	(1) 中世・近世の神宮祠官の学問と思想の研究 (2) 中世・近世に於ける天照大神観の研究 (3) 中世・近世の神宮祭祀に関する研究 (4) 神道の祭祀に関する研究
	国文学科	大島 信生	教授	上代国語国文学	(1) 万葉集の訓詁注釈的研究 (2) 古事記の国語学的研究 (3) 日中比較文学研究 (4) 熊野についての研究
		高倉 一紀	教授	近世学芸史 書誌学	「近世の伊勢を中心とする蒐書文化と蔵書家の社会的機能に関する研究」書籍の大量生産(町版の出現)により登場した近世の新興知識人を“読者”と捉え、近世文化の形成と展開に関わった彼らの役割を明確にする。こうした視座により、大きく見るなら近世文化の実態的な理解を課題とする。
		半田 美永	教授	日本近代 現代文学/日中比較文学	(1) 日本近現代文学の研究(特に、文学における伝統の継承と再生について)。 (2) 森鷗外、正岡子規、佐藤春夫と、その周辺。 (3) 熊野の思想・歴史・文化・文学。 (4) 文化・文学を視点とする日中比較的研究など。
		深津 睦夫	教授	中世文学、特に和歌を中心に	(1) 南北朝時代の和歌と歌人についての研究。 (2) 神祇信仰と和歌との関係についての研究。
		毛利 正守	特命教授	上代文学と国語学	上代語を解明するために、中国から将来した漢字をいかに日本人が「訓読」という母国語の文字に転換させたかという問題を、文体の面からさぐり、これまでに言われている漢文体の概念からではなく、新たに「倭文体」なる奈良時代における日本語の文体を提唱してこれを解明研究する。
		上小倉 一志	准教授	書道	(1) 楚系文字の研究 (2) 甲骨文字の研究(継続中) (3) 王鐸書法の研究(継続中)
		齋藤 平	准教授	日本語学	(1) 日本語における漢字の意味(訓)に関する研究 訓を介在する漢字通用の問題 (2) 方言の研究 ① 津波記念碑の社会言語学的研究 ② 三重県方言の研究
中川 照将	准教授	中古文学	古典文学における異文の生成と享受に関する研究		
松下 道信	准教授	中国道教思想	中国固有の宗教である道教、特に近世前期(宋・金・元)の内丹道に関する研究。		

学部	学科	氏名	職名	研究分野	教育・研究課題
		三品 理絵	准教授	近代日本文学	泉鏡花を中心とする近代日本文学研究 (1) 鏡花作品と古典絵画、文様とのかかわりの検討 (2) 初期鏡花と明治の作家たち、及び明治初期作品とのかかわりの検討 (3) 鏡花、乱歩、そのほか、諸作品についての解釈と検討 (4) 現代における「近代文学」の受容と意義についての検討
		岡野 裕行	助教	文学館の歴史的研究	日本の近代における文学館という社会的仕組みの成り立ちや発展について研究する。
国史学科		上野 秀治	教授	日本近世近代史	近世大名の主に生活面から、大名の全体像に迫るとともに、維新後華族となつた旧大名の生活を研究し、近代における華族の役割を解明する。あわせて、近代の大名華族の生活から、近世大名の生活の細部を復元してみる。また近代の大名華族だけでなく、華族全体の研究にも広がっていく。
		岡田 登	教授	日本考古学 日本古代史 神宮史	(1) 伊勢湾西岸の考古学的研究 (2) 神宮史の研究 (3) 日本古代史の研究
		岡野 友彦	教授	日本中世史	中世公家社会とその経済基盤に関する研究
		清水 潔	教授	日本古代史 法制文化史	(1) 日本古典籍とその受容史の研究 (2) 古代律令学の展開に関する研究 (3) 年中行事・神祇祭祀の史的研究
		田浦 雅徳	教授	日本近現代政治外交史研究	左記の中でも主に近代の戦史研究（とりわけ日露戦争研究）、昭和戦前期の外交史の研究を行う
		松浦 光修	教授	日本思想史	尊皇攘夷思想の形成とその幕末維新时期における展開
		多田 實道	准教授	日本中世史	中世神宮領および神宮と仏教の関係についての研究
		谷口 裕信	准教授	日本近代史 (特に地方行政史)	近代日本における地域の形成と展開について、とりわけ郡に注目して研究する。
コミュニケーション学科		池田 久代	教授	比較文化文学研究	岡倉天心のアメリカコネクション 堀至徳、丸山貫長の資料研究（日記、書簡、その他）
		上久保 達夫	教授	異文化間教育学 (海外・帰国子女教育) 比較社会学	ここ数年来掲げてきた研究テーマ「海外・帰国子女教育の理論的実証的研究」
		児玉 玲子	教授	英語学	英語発達史：英語前史を含め、英語とその民族の歴史と英語の語源の研究
		張 磊	教授	情報システム	オープンソースシステムにおける研究
		外山 秀一	教授	地理学 環境考古学	(1) 微地形分析とプラント・オパール分析を用いた遺跡の立地環境の復原に関する研究 (2) アジアの稲作の起源と伝播、日本の稲作の開始と波及に関する研究
		豊住 誠	教授	英語教育学	英語教育の理論および実践にかかわる研究。特に英語教材と小学校英語活動を中心として。
		森 真一	教授	現代社会論	「無言社会」としての現代社会
		山田 やす子	教授	ドイツ文学 語学	(1) 初期新高ドイツ語期の文学・語学についての研究。 (2) ドイツ語圏の女性文学についての研究。
		川村 一代	准教授	英語教育	必修化二年目を迎えた小学校外国語活動をより効果的に行うため、現場での問題点を明らかにし、その解決・改善策を考える。小中連携も視野に入れて検討したい。
		ジョン・ダイクス	准教授	コンピューター等の使用による外国語教授	日進月歩で進化していくIT技術を利用しての外国語教育において、その技術を利用し教えていく以前に、教員自らが如何に敏速にその技術を習得しうるかが、最大の課題となっている。
		前田 至剛	講師	空間の社会学	近代化以降の大規模な「開発」が、地方都市の空間形成および社会生活に与えた影響について明らかにする。
佐藤 武尊	助教	自然科学	「学生柔道重量級選手の競技力の順位付け方法の信頼性および客観性」		

学部	学科	氏名	職名	研究分野	教育・研究課題
教育学部	教育学科	小木曾 一之	教授	応用生理学	転倒防止等に向けた高齢者の運動制御能力や各種運動能力の向上に向けた子ども達の運動制御能力向上のため、 (1) 発達・加齢に伴う身体運動制御メカニズムの変化を神経筋システムから明らかにする。 (2) 身体運動制御メカニズムに基づく運動処方を開発する。
		加藤 茂外次	教授	絵画	油彩および版画の表現方法と技法
		叶 俊文	教授	体育心理学	体育における動機づけについて
		小孫 康平	教授	メディアの教育利用に関する研究	本研究では、メディアの特性やメディア利用者の心理状態について検討する。また、メディアの教育利用の現状やメディアを教育で利用する際の問題点について検討することを目的とする。
		田口 鉄久	教授	幼児教育 保育の内容および方法に関する実践的研究	(1) 3・4・5歳児の基底カリキュラムを作成する。 (3年継続の2年目) (2) 幼稚園教育の実践事例を分析・検討し、保育内容・方法を検討する。(4年継続の2年目) (3) 保育内容の充実に向けた実践の検討と実践後の評価・反省を行う。(2年継続の2年目) (4) Wienの幼稚園教育についてまとめ、これからの幼稚園教育のあり方について考察する。
		中村 哲夫	教授	体育 スポーツ史	(1) 明治期以降学校体育の発展過程の検討 (2) 1930年代における国際スポーツの展開過程の解明
		錦 かよ子	教授	音楽 作曲	オペラ、室内楽、合唱曲等の作曲技法の研究と作品の上演。 音楽教育に関する研究。
		檜垣 博子	教授	保育学	地域共同体の中で子育てを楽しみながら、精神的に豊かな家庭生活が過ごせるまちづくりについてその理念と手法についての研究
		深草 正博	教授	社会科教育学 環境世界史学 フランス近世史	(1) 国際理解教育の前進に向けて、国内の異文化を「ふるさと」と位置づける方法を模索する。 (2) 世界史教育の中に環境をどのように組み込むか、新学習指導要領の方向に沿って、新しい教材開発をこころみることや環境と宗教のかかわりを考える。 (3) ナントの勅令の廃止がフランス経済にいかなる影響を及ぼしたのか、旧説を再検討する。
		吉田 直樹	教授	発達臨床心理学 環境心理学	発達に課題を抱える幼児・児童・生徒・学生の連続した適応支援
		栗原 輝雄	特命教授	特別支援教育 臨床心理学 臨床発達心理学	特別支援教育における実践・支援の基盤の見つめなおしを引き続き行い、障害のある子（特別な教育的ニーズのある子）とその保護者の思いに寄り添うことのできる教育的支援・発達の支援のあり方について検討する。
		市川 千秋	特別教授	学校心理学における生徒指導領域の研究	生徒指導の体系化に関する研究を行なう。対立解決教育、ブリーフカウンセリング、生徒ハンドブック、品性教育等の領域について教育プログラムを構築することを目的とする。
		有門 秀記	准教授	生徒指導の方法を心理学的観点から開発する	生徒指導の具体的な方法を教育心理学的に分析し、効果的な方法を開発すること
		井上 兼一	准教授	教育史	昭和戦前期における学制改革に関する研究
		片山 靖富	准教授	健康科学	汎用性のある減量プログラムの開発
		杉野 裕子	准教授	算数 数学教育学	(1) 算数・数学学習におけるコンピュータモデルの有効性の研究 (2) コンピュータモデルを、児童・生徒・教師が作成したり動かしたりできる、算数の教材開発 (3) 学生の模擬授業を通じた算数授業理解についての効果的な方法の開発
中松 豊	准教授	応用昆虫学 理科教育学	昆虫の生体防御機構の解明 小・中・高等学校で利用できる理科教材の開発		
元塚 敏彦	准教授	体育科教育研究	(1) ボール運動領域におけるゲームパフォーマンス評価法の開発 (2) 体育科における学力テスト内容の検討		

学部	学科	氏名	職名	研究分野	教育・研究課題
		山本 智子	准教授	障害児教育学 学校心理学	(1) 肢体不自由教育の史的 研究 (2) 特別支援教育の授 業研究 (3) 教育相談におけ る連携のあり方 (4) 特別支援学校教 員を目指す大学生に 対するキャリア教育の あり方。
		吉田 明弘	准教授	児童福祉 保育	ロバート・オウエン 思想の現代的意義に 関する研究
		渡邊 毅	准教授	道德教育	道德教育における 偉人伝教材に着目し た研究。
		長尾 陽子	特命准教授	公衆栄養	(1) 「中年肥満女性 を対象としたダイエ ット教室減量効果の 検討」 (2) 「高校生の食 習慣と地域性」
		野々垣 明子	講師	教育哲学 アメリカ成人教育 史	(1) ライシーアム運 動の発展と成人教育 への影響 (2) 子ども観の変 遷
		市田 敏之	助教	教育行政学	現代米国教育政策 研究
		中條 敦仁	助教	国語教育学 言語教育学 キャリア教育学	国語教育学：教材 分析と発問の開発 言語教育学：言語 教育の現状と言語 プログラムの開発 キャリア教育学：教 科教育におけるキ ャリア教育の可能 性
現代 日本 社会 学部	現代 日本 社会 学科	鶴沼 憲晴	教授	社会福祉法制度 研究	社会福祉事業の法 制史を現代史とし て概観し、その構 成要素の変容を。経 済的・社会的変動 との関連を踏まえ ながら考察する。
		笠原 正嗣	教授	福祉交通論 産業社会学	クルマを運転でき ない超高齢者が増 加する都市山間部 を中心とした地域 社会において、公 共交通を中心とし た「脱クルマ」の 可能性と同時に、 電気自動車等の 新しいクルマの革 新がもたらすクル マの新しい役割の 可能性を探る。
		筒井 琢磨	教授	地域社会学	地域社会におけ る市民参加の現状 と課題に関する研 究
		富永 健	教授	憲法	(1) 国体法の研究 国体と憲法との 関係、特に我が 国における主権 と統治権に関す る研究 (2) 政教関係の 研究 現憲法下 の政教関係裁判 における問題の 考察 (3) 公務員を めぐる法的問題 の研究
		新田 均	教授	近現代日本の 政教関係 近現代の皇室 制度	近現代日本の 国家と宗教の 関係の特質を 解明する。 近現代日本の 皇室制度の 特質を解明 する。
		橋本 雅之	教授	国文学 神話学	(1) 風土記の 作品研究と注 釈 (2) 日本人 の意識構造と 神話について
		守本 友美	教授	社会福祉援助 技術論 ソーシャルワ ーク	(1) 社会的に 排除された人 々へのソーシ ャルワーク実 践に関する研 究 (2) 社会福 祉施設のボラ ンティアコー ディネーター 養成のための 教材開発に 関する研究
		山路 克文	教授	日本の医療 福祉政策と ソーシャルワ ーク	(歴史研究) 「 日本における 医療・福祉政 策の近現代史 研究」 (現状分析) 「 今日の福祉・ 医療情勢と ソーシャルワ ークの展望 ー地域移行 ー」と他職 種連携につ いてー」
		山中 優	教授	リベラリズム および市場 の政治思想	(1) K・R・ポ パーとF・A ・ハイエクの 民主政批判の 比較検討 (2) 政治概 念としての 市場の歴史 的展開 (3) ハイ エクのファ シズム論の 現代的意義
		宮川 泰夫	特命教授	日本学 日本地誌 経済地理学	産業地域革新 の伸展と地域 産業構造の変 革
		板井 正斉	准教授	宗教社会学 宗教民俗学 福祉文化論 神道福祉研 究	(1) 宗教と 福祉・社会 貢献に関す る基礎的研 究 (2) 宗教と ツーリズム に関する基 礎的研究 (3) 宗教 と過疎に関 する基礎的 研究
		岩崎 正彌	准教授	日本の伝 統文化	～その探究と、 継承、未来へ の創造～ (1) 基礎： 我が国の伝 統文化の詳 細を学び、 全貌を概観 し、その特 徴の精神的 根源を探 究する。 (2) 応用： 我が国の 伝統文化の 未来への継 承と発展を 期して、そ の方向と方 法を提示す る。 (3) 展開： 我が国の 伝統文化 教育の一層 の充実と振 興をはかり 、真なる 皇国の弥 栄に貢献す る。

学部	学科	氏名	職名	研究分野	教育・研究課題
		榎本 悠孝	准教授	精神障害者保健福祉分野	(1) 社会的入院患者の地域移行支援に関する研究 (2) 学生に対する精神障害啓発プログラムに関する研究
		関根 薫	准教授	家族社会学	高齢期における社会関係の質と量がエイジズムにもたらす影響についての研究。
		建部 久美子	准教授	障害福祉分野	障害福祉分野の健康保障・生涯発達保障・労働保障を研究していくうえで基礎資料となる文献やそれに関わる実践の研究。
		野尻 京子	准教授	高齢者ケアの地域検討	(1) 在宅高齢者を介護する家族介護者の支援 1) 施設入所意思決定過程の分析 2) 介護保険法的確性の検討 (2) 介護職員の職場環境 「介護職員のいじめ」内容
		藤井 恭子	准教授	社会学 社会調査法	伊勢市役所との共同研究である社会地図を作成することで伊勢市の今後を探る地域研究
社会福祉学部	社会福祉学科	櫻井 治男	教授	宗教学 宗教社会学 神社・祭礼研究	(1) 神道と自然環境問題に関する宗教学的研究 (2) 地域神社・祭祀と地域社会の変容に関する調査研究 (3) 近代の伊勢神宮改革に関する基礎的研究
		宮城 洋一郎	教授	社会福祉の歴史と文化	社会福祉の歴史研究および福祉文化研究 人権のまちづくり研究
		山上 賢一	教授	社会学 教育社会学	価値論の研究 人間の行為はどんな価値観・意識に基づいてなされるのか
		上野 文枝	助教	母子福祉 スクールソーシャルワーク	(1) 母子家庭の生活困難に関する調査研究 (2) スクールソーシャルワークの現状と課題についての研究
神道研究所		加茂 正典	教授	神道史 日本文化史	前近代における国家と祭祀の史的研究 (1) 大嘗祭の研究。 (2) 古代の伊勢神宮祭祀と朝廷祭祀についての史的研究。 (3) 吉田神社社家・鈴鹿家文書の研究。 (4) 鈴木重胤関係資料の蒐集と研究。
		山口 剛史	助手	神道学	神道史・神道思想・神道祭祀の研究。
佐川記念神道博物館		岡田 芳幸	教授	神道学 博物館学	(1) 神社宝物並びに神社宝物館の史的研究 (2) 我が国における文化財保護思想の研究 (3) 資料の分類方法に関する基礎的研究
		千枝 大志	助教	博物館学 神道学 日本中近世史	神道史料を主とする地域資料等を活用した博物館活動に関する実践的研究 ～三重県南部を中心に～
史料編纂所		荊木 美行	教授	日本古代史	日本古代史を研究していくうえで基礎資料となる文献やその他の文字資料の研究。
		遠藤 慶太	准教授	歴史書よりみる日本歴史の研究	編纂業務ともかかわりの深い日本の古代史書を主題に、その編纂過程・受容のありかたを検証することにより、日本の伝統文化において歴史書が果たした役割を明らかにする。
館史編纂室		大平 和典	助教	皇學館史 日本古代史	皇學館の歴史、ならびに日本古代史とくに『日本後紀』を中心とする研究